様式３(2010.09改)

作成日　平成２６年　３月３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372202032
事業所名	グループホームやまと椿館

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	ホームの立地する地域が、住民の力で地域を良くしていこうとの意識が高く、ホームもその一員として受け入れられている。 地域の防災訓練や行事への参加も、地域住民の協力が得られており、法人が主催する「夏祭り」には大勢の地域住民が集い、揺るぎのない地域交流・連携の仕組みが構築されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議でのメンバーの発言は活発で、議題も多岐に亘っている。 選挙の投票がホームで出来ないかとの提言や、認知症について学びたいとの要望など、様々な立場からホームの運営に寄与しようとしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	運営推進会議には毎回地域包括センター職員が参加しており、それを通じて行政との連携を図っている。 事業所の運営に関するアドバイスをもらったり、様々な情報提供を受けている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族の来訪時には意見の聞き取りを行ない、家族も面談時や運営推進会議において率直な意見を述べている。出された意見や要望について職員で話し合い、運営に反映できるよう努めている。 カラフルでセンスあふれた「やまと通信」が家族に届けられており、法人内の他のホームの様子も手に取るようにわかる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。